

# 森下さち子ニュース

市議会ホームページ  
Eメール  
ブログ

<http://jcpwkym.sakura.ne.jp/>  
[jcpwkym@apricot.ocn.ne.jp](mailto:jcpwkym@apricot.ocn.ne.jp)  
<http://sachikogo.exblog.jp/>



2015年3月号



三寒四温の季節となりました。みなさんはいかがお過ごしですか。同時に花粉と黄砂の時期でもあり、私はこのニュースを作成している今、目のかゆさとくしゃみに悩まされています。春の訪れは暖かさへ向かう時でもあるので、うれしさ半分、でも困るのも半分、悩ましいところです。

2月議会が始まっています。新市長になって初めて組まれる本格的な予算でもあり、市民のみなさんの切実な要望が、どれだけ反映されているか注目されるどころ。6人全員で質問に立ち、暮らしや子育てを応援できる和歌山市へと、さらにかんばります。



## 《2月定例市議会》

2月23日から開会されました。2月議会は2014年度の最終補正予算を先に審議して採決し、その後、新年度（2015年度）の予算を審議します。また、各会派の代表質問が行われるのも2月議会の特徴です。テレビわかやま、和歌山放送での放映・放送もされます。ぜひご覧ください。

### 2014年度 最終補正予算

最終補正予算は1年間で組んだ予算が多かったり、少なかったりを調整する意味もあります。調整の上、必要な予算を組むことが望まれます。  
2月27日、2014年度最終補正予算の採決が行われました。提案された33件のうち10件について、私森下さち子が反対討論を行いました。

### 障害者のケアホーム 補助金が認められたのは 1件のみ

障害者の方の入所施設ケアホームの建設に関わる補助金の申請が7件あったにもかかわらず、1件しか認められなかったことから、組んだ予算の94%が減額されました。

障害者の方の入所希望に対して、どうすれば設置できるのか手立てを取るのが市の仕事のはずです。市の様々な施設を指定管理者へ

指定するのは、経費を節約するためだということですが、今回は自転車や原動機付き自転車の駐車場の管理・運営に関わるものが9件ありました。指定管理者となる業者は、施設の管理に責任を持つとはいえ、市民から寄せられる意見などには十分対応できないと考えられます。  
また、今回は9件とも同じ業者であり、官公需という観点からも問題があります。

【官公需】国、公庫、公団及び地方公共団体などが、物品を買い入れたり、工事を発注したりすること

### 経済対策としての国補予算 11億円

2月16日に開かれた全員協議会で、尾花市長から新年度予算について説明がありました。



国が「地方創生」と銘打った11億円の補正予算を使って、新年度予算と併せ、13ヶ月予算を編成したとのことです。

### その内容

- ① まち・ひと・しごと創生として、プレミアム商品券に4億3500万円、U-Jターン助成、創業支援や販路開拓、観光振興などで1億8704万円
- ② 内閣府・地域再生戦略交付金として、地域再生計画などに3億2082万円
- ③ その他として、河川・下水道など公共事業の前倒しに1億5960万円

これらが、市民生活にどのような役に立ち、経済対策として生きるのかが何よりも問われるところです。

# 日本共産党 かとうなおと 加藤直人 です



視覚と聴覚に障害のある人にとって、意思の伝達方法は独特で大変重要です。点字も手話もそのまま用いることはできないけれども、手を触る「触手話」や3本の指に点字を打つ「指点字」などを使って会話をすることができません。ただ、ひとりずつその手法は違いがあるので、通訳の人も日頃のつきあひが必要とのこと。

先日、「盲・ろう者友の会」の方と選挙権行使について和歌山市の選挙管理委員

会を訪れました。投票所で本人の意思を第3者が確認するすべがなければ、代理の投票ができないことになっていたので通訳者を介して意思確認では代理投票は認められないのが現状です。立会人が判別できる方法を検討しなければなりません。文字にできず、発声もできない場合でも通訳者には十分意思が通じているのに投票することができない悔しさを何とかして解決したい。全国の事例や経験を集めて、投票のハードルを下げる配慮をするように働きかけていきたいと思います。

## お知らせ

**3月8日(日)**

10:00~ 15:00

和歌山城西の丸広場  
「福島を忘れない!

原発ゼロへ  
和歌山アクション2015」



**3月14日(土)** 13:00~



市民会館小ホール  
「日本共産党 演説会」  
こくた恵二国対委員長がお話  
します。

## 3月の法律相談

**3月18日(水)** 13:00~

事前予約が必要です。  
TEL 435-1113  
市役所控室 森下まで

## 森下さち子のブログ

### 「さっちゃんね...♪」より

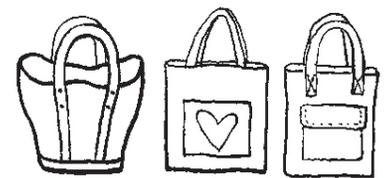
#### 「手作りのバッグと椅子」

料理はともかく、どうしてもしなければならぬ時以外、裁縫はあまりしません。パッチワークなど根気のいるものは、手作りする方を尊敬します。私はもっぱら購入するタイプ(笑)  
先日、相談を受けた方を訪問したところ、私が下げていた、小さな布バッグに目を留め、「使う機会が多いならどうぞ!」と手作りのバッグと椅子をいただきました!!  
裁縫が好きで、いくつも作り、知人の方などに差し上げているとか。私もそのお相伴にあずかりました。



カバンはカーテン生地が使われており、かなり丈夫にできています。また、椅子は牛乳パックを使ったもので、上には持ち手がついており、使う人の利便性が考えられています。子どもたちも椅子に座り、「ちょっとしたときにいいね」と。

手作りの品は、使う毎、作ってくださった方とその笑顔、そして、その時の会話も甦ります。(2015年3月1日)



最近、余りお酒を飲まなくなりましてが、ウイスキーが日本でどのように作られるようになったのかを描いている朝ドラ「マッサン」を興味深く見ています。

ウイスキーのふるさとスコットランドへ学びに行き、そこで知り合ったエリーと結婚し、一緒に日本に戻ってきたマッサン。そもそもなじみのないウイスキーを日本で作り、広める困難さもさることながら、太平洋戦争に突入してからは、敵国となっ

た英国、スコットランドが妻、エリーのふるさとであるがために、エリーの存在そのものを、ことごとく疑われます。特高警察に踏み込まれる場面は、ハラハラし通しました。そのときにエリーが言った言葉「私はこの国で生きていく。髪の色、肌の色、目の色が違って同じ人間、私は亀山政春の妻です」に圧倒されました。あと一ヶ月、マッサンとエリーはどんな道を歩んでいくのでしょうか。

